

## < ただ主を >

ヨハネ 14:11-21

わたしは去って行くけど、孤児にはしない。(：18)

助け主、聖霊が与えられる。(：16)

わたしが地上から見えなくなってもこの聖霊においてわたしを見るようになる。(：19)

わたしはあなたのうちにいるようになる。(：20)

### クリスチャンの1番の特徴は、私たちが愛してくださっている神とともに生きること

「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしを信じる者は、  
わたしが行うわざを行い、さらに大きなわざを行います。  
わたしが父のもとに行くからです。」 (ヨハネ 14:12)

十字架の死からよみがえられた主イエス様が天に昇られたら、イエス様の永遠のいのちの流れがこの世界に注がれる。そのいのちを受けたクリスチャンと教会によって、罪の赦しと永遠のいのちの救いが世界中に広がり、神様の愛と善によるご支配が世界中に広がっていく。

「あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。  
父が子によって栄光をお受けになるためです。」 (：13)

私の願い通りになるためではない。神のすばらしさがこの世界に明らかにされるために、主イエス様は、私たちが祈るときに何でもそれをしてあげようと言ってくださっている。

イエスの名によって求めるとは、主イエスの名によって祈ること。

祈りも様々。

- ・ルカ 18 章のパリサイ人の祈り。(優越感に浸るための祈り)
- ・人に見せびらかすための祈り。

これらは、十戒の「あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない。」に反する姿。

「御名によって祈る」とは、愛なる神、真実な神に深く心に向けること。主イエスのお名前によって、神に近づくこと。

詩篇の祈り…その多くが叫びから感謝と賛美に変わっていく。

私たちが、心を開き、この方に信頼し、寄りすがって祈るときに、自分の生活と人生のすべてのことが救いの一部であることを知るといふ出来事が起きる。

### 叫びと悲しみは癒され、病と死も癒しと慰め、平安を得る

「彼は自分のたましいの激しい苦しみのあとを見て、満足する。」(イザヤ 53:11)

「まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。…彼は私たちの背きの罪のために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。…虐げと裁きによって、彼は取り去られた。…」(イザヤ 53:4-5, 8)

### イエス・キリストの御名によって祈るとは、いつか必ず再臨される主を見つめること

「これらのことが起こり始めたら、身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。」(ルカ 21:28)

そこに見えてくるのは、贖いの完成のとき、天から降って来られる再臨の主イエス様！  
再び来られるイエス様には赦しがあり、慰めがあり、癒しがあり、平和と正義があり、よみがえりがあり、完全な形への回復があり、満ち足りた豊かさがある。私たちは、全ての良いもの、求めるものがここに=主にあると確信し、平安を得て、あらゆることから自由になって、神と人を愛する愛に生きることができる。

また、主は、私の祈りを聞いてくださるといふ安心の中を生きることができる。

